

法と心理学者による実務家研修

「子どものための司法面接と 体験を語る子どもの心理 ～子どもへの包括的な支援をめざして～」

● 対象：弁護士・警察官・検察官、家裁調査官、児童相談所職員など
 子どもと関わる職種の方に幅広く

2015年11月23日(月・祝)

10:00～16:00 (9:30 開場)

ウィンクあいち1307会議室

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目4381-143

(◎JR名古屋駅桜通口からドランドスクエア方面 徒歩5分)

(◎ユニモール地下街5番出口 徒歩2分)

<http://www.winc-aichi.jp/access/>

法と心理学の知見・成果を現場の方々
 に知っていただくために、文部科学省
 科学研究費補助金・新学術領域研究「法
 と人間科学」が、実務家研修を企画し
 ました。参加費は無料です。みなさ
 まの参加を心よりお待ちしております。

子どもが事件や事故に関係した場合や、虐待事実の確認が必要となる時、あるいは、子どもの意向調査が必要である場合など、子どもから話（体験）を聴くことが重要な意味を持つことがあります。しかし、子どもから話を聴くことに困難を感じておられる方は多いのではないのでしょうか。

そのような場合に、海外では、子どもに対して負担が少なく、正確な報告を促すようデザインされた司法面接という面接法が積極的に活用されています。本研修では、この司法面接について、子どもから話を聴く立場にある方々を対象に講習を行います。

さらに、「体験を語る子どもの心理」についてもご紹介し、子どもへの支援について参加者の方と協働的に考えます。子どもからつらい体験を聴くことの多い司法面接と、そのような体験をした子どもの心理ならびに体験を語る子どもへの支援についてともに取り上げることで、両者の役割の違いや連携の重要性についても考えたいと思います。

タイムテーブル

- 10:00 ● 開会の挨拶と企画趣旨
 四天王寺大学・准教授 田中 晶子
- 10:20 ● 司法面接のガイドラインと演習
 北海道大学大学院・教授 仲 真紀子（「法と人間科学」代表）
- ・ 講演：「子どもの記憶と司法面接（NICHD プロトコル）の実際」
 - ・ 演習：参加者による司法面接体験
- 12:00 --- お昼休み ---
- 13:00 ● 演習の振り返り
 四天王寺大学・准教授 田中 晶子
 北海道大学大学院・教授 仲 真紀子（「法と人間科学」代表）
- 13:30 ● 講演「子どものトラウマ体験とその心理
 —被害体験を語る子どもの理解とケアのために—
 立命館大学・准教授 安田 裕子
- 14:30 --- 休憩 ---
- 14:45 ● 演習「司法面接にまつわる子ども支援
 —グループ討議を通じて協働的・多面的に学ぶ—
 立命館大学・准教授 安田 裕子
- 15:45 ● 質疑応答
 北海道大学大学院・教授 仲 真紀子
 立命館大学・准教授 安田 裕子
 四天王寺大学・准教授 田中 晶子

講師 安田 裕子（立命館大学 准教授 / 「法と人間科学」H24-25 年度公募研究班代表）

田中 晶子（四天王寺大学 准教授 / 「法と人間科学」公募研究班代表）

仲 真紀子（北海道大学大学院 教授 / 「法と人間科学」代表）

企画 田中 晶子（四天王寺大学 准教授）

主催：文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究
 「法と人間科学」総括班

共催：文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究
 「法と人間科学」公募研究課題「司法面接における子どもの語り：
 質問形式と応答の関係性について」

：文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究
 「法と人間科学」計画研究課題「子どもへの司法面接：
 面接法の改善とその評価」

後援：立命館大学・立命館グローバル・イノベーション研究機構 (R-GIRO)
 『法心理・司法臨床センター』
 日本認知心理学会、法と心理学会、日本心理学会

* 参加を希望される方は、法と人間科学 HP
 (<http://law-human.let.hokudai.ac.jp/group/summary/archive/117/776/>)
 より申込み用紙をダウンロードし、ご記入の上、メールにてお申し込み
 ください。総括班支援室よりお返事いたします。

● 申込み・問合せ先：
 北海道大学大学院文学研究科
 新学術領域研究「法と人間科学」総括班支援室
 email: lahs@let.hokudai.ac.jp、tel: (011) 706-3912